

これであなたも大丈夫！

12月12日（水）ニコニコ給食が保健センターで開催されました。冷たい雨の日でしたが、川戸の各地域から17名の方の参加がありました。

まず、川戸駐在所の田中巡査部長による～詐欺にだまされないためにはどうしたらいいか～について具体的な例を示しての話がありました。最近、ハガキの「詐欺」が江津市内でも多数確認されていて『詐欺被害』が、身近な問題であることを皆で再確認しました。



反応検査に挑戦中!!



続いて、クイックアームというモグラ叩きのような器材で、反射年齢を確認したり、夜光反射材体験ボックスで50m・25m先からどう見えているかを体験しました。



ご寄付御礼
佐々木 宏 様（故 佐々木 功 様）
香典返しに変えて、川戸地域コミュニティ協議会にご寄付を頂戴いたしました。故人のご冥福をお祈りするとともに、謹んでお悔やみ申し上げます。ご厚志に対し、厚く御礼申し上げます。

この給食会は、赤い羽根共同募金で実施しています。

クリスマスが近いこともあり、年末に役立つような（?!）プレゼントが当たるビンゴゲームで楽しんだ後は、女性スタッフの皆さんの用意したおいしい昼食を全員でいただき散会しました。男性の参加者も増え、会場からは終始楽しそうな笑い声が聞こえていました。



「親子交通安全教室」を開催!!

親子・家族で一緒に正しい交通ルールを学ぶ「川戸地区 親子交通安全教室」が、12月22日（土）午前9時から保健センターを会場に開催されました。

子どもをはじめ、保護者の皆さん、子ども見守り隊メンバーや地域の皆さん等、31名の参加者がありました。川戸駐在所の田中巡査部長から交通安全についての話を聞いた後、江津警察署による自転車走行のシュミレーション等実際にいろいろな体験をしました。



生涯学習・青少年健全育成部

Gmail:sakuraekawado@gmail.com
URL:https://www.facebook.com/kawado.community

【発行・編集】川戸地域コミュニティ協議会
〒699-4226
江津市桜江町川戸11-1 ☎ 0855-92-0026

【地域づくりの基本理念】誰もが支えあい、安心して暮らせる活力ある地域づくり

新年のごあいさつ

川戸地域コミュニティ協議会

会長 今田三之

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、川戸地域コミュニティ協議会の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、平成最後の年を振り返りますと三月の三江線廃止、また七月の豪雨災害等改めて「地域力」について考えさせられる一年でした。

その年の世相を表す漢字一文字として昨年選ばれたのは「災」でした。昨年は全国各地で多くの災害に見舞われました。川戸地区でも七月の豪雨災害は、近年にない大災害をもたらしました。家屋の浸水等により、今でも不自由な生活を送っておられる方もいらっしゃいます。

改めて、被災されました皆さまに対し衷心よりお見舞い申し上げます。

災害は、いつわが身に降りかかるかわかりません。この度の豪雨災害を教訓とし、川戸地域コミュニティ協議会の喫緊の課題として、しっかりと検証を行い「自主防災」について取り組んでまいります。

本年も、地域の絆を築いてこられた先人を敬い、未来をつくる子供たちの健やかな成長を願うと共に、世代を超え川戸地域コミュニティ協議会の基本理念である「誰もが支えあい、安心して暮らせる活力ある地域づくり」に取組んでまいります。より一層のお力添えをお願い申し上げます。

本年が、皆さまにとりまして幸多い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

天野勝則さん 「大日本水産会表彰」受賞



表彰状を手にする
天野さん

永年にわたり江の川漁協に携わってこられた近原の天野勝則さんが『大日本水産会表彰』を受賞されました。

「大日本水産会」は、明治15年に発足。表彰制度は明治23年から始まり、島根での受賞者は天野さんで35人目です。

水田さんの想いのこもった手作り紙芝居!!

12月14日(金)朝8時15分～桜江小学校で、水田さん手作りの紙芝居を使って、民生児童委員の皆さんによる「読み聞かせ」が行われました。

(11/1の山陰中央新報で大きく取り上げられました。)



紙芝居「太郎物語」
を読む水田さん



色鉛筆で書かれた紙芝居は
25枚の大作です。

音楽室では、1～3年生が水田さんの手作り紙芝居に、目をキラキラさせながら15分間の読み聞かせを楽しみました。

わがまちの防災を考える!!

主催：生活安全・環境保全部

日時：平成30年12月9日(日) 10時～12時

場所：桜江総合センター 多目的ホール

島根県土木部砂防課出前講座

「土砂災害から身を守ろう」

島根県土木部砂防課 郷原企画官

「記録的な」「過去にない」「史上最高の」豪雨が降る現状があるなかで、土砂災害が発生する危険度の高さでは、広島県に次いで島根県は全国第2位である と 現実を再確認させられる話で郷原企画官の講座は始まりました。

土砂災害から身を守るためには

危険性が判断しにくい
正確な予測が困難である
人命を奪う可能性が高い



**早めの避難が
重要です!**

どこが危ないか?
いつ危ないか?
どこへ逃げるのか?
どう逃げるのか?



**日頃の備えが
重要です!**

江津市総務課防災係出前講座

「7月豪雨が桜江地区にもたらした災害の記録」

江津市総務課 大賀係長



7月の豪雨災害を振り返ることで、地域に即した『災害への備え』について深く考えさせられた講座でした。

- ①被害想定
- ②予防、抑止…防災情報を入手する手段をたくさん持っておくことが大切!
- ③応急対応…備蓄・防災グッズの整備をする!
自分で考えて、自分で準備する
(今日からやって欲しい)

**※「予防、抑止」対策が出来ているから
「応急対応」ができる!!**



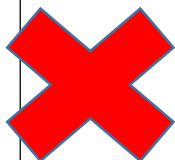
川戸地域のみならず他地区からの参加もあり、当日は約40名が熱心に耳を傾けました。

「自分で準備するもの」「地域で準備するもの」「行政で準備するもの」について、よく話し合っただけで欲しいとの大賀係長の投げかけに応え、出来ることから実践に移すことが大切であると肝に銘じた一日となりました。

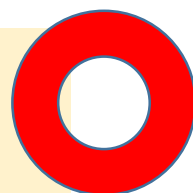
「この前の大雨も大丈夫だった」

「先祖代々、崩れたことがない」

「我が家だけは大丈夫!」



**重要なのは、
早めの避難と日頃の備え!**



平成30年への^{はなむけ} となった子供神楽

今年も、10月29日の舞割に始まり、翌30日から土・日・祝日を除いたほぼ毎日、午後7時30分から午後9時まで川戸交流センター体育館で練習を重ねてきました。

川戸若連中の皆さんの指導のもと、みんな“めきめき”上達しました。

本番は、12月1日（土） 午後7時から翌日2日（日）の午前2時過ぎまで行われました。



小学1・2年生による「四方堅」から始まり、「塵輪」まで全部で10演目を披露しました。「天神」では、岡田亮祐さんが奮闘しました。

舞台の袖では、昨年に自分が舞った役を舞う子に、『よし！』『よし！』と声をかける上級生の微笑ましい姿も見られたそうです。みんな、力の限りを出し切りました。



【舞手紹介】

入江瑚羽、村岡凜桜、森田葵生、植田悠煌、渡邊愛里、小笠原早那佳、岡田侑賢（中学生）、田平郁麿、原田千櫻、山本澪奈、岡田煌明、吉田 光、入江愛羽、森田桜來、今田陽嘉、村岡颯太、平田伸樹、田平大惺、村岡 諒、田平蒼太（中学生）、岡田亮祐（45歳） 【敬称 略】



”桜江っ子米 ベニスザク”の「お米贈呈式」

12月19日（水）午前9時30分より桜江小学校において、桜江っ子米“ベニスザク”の贈呈式が行われました。

5年生が、市山の牛尾且宏さんの指導で、やぶさめの棚田で田植えから稲刈りまで手塩にかけた大切な『ベニスザク』です。地域の皆さんにも食べていただきたいとの思いを書いた一人一人のメッセージと一緒に、桜江5地区のセンター長が受け取りました。

1割の白米を加え、
水加減は普通で炊
いてね！



佐々木枝音さん・菅田朔矢さん・今田陽嘉さん・原田恭輔さん・三谷良圓さん等川戸地域の児童からお米を受け取る今田センター長